



経済学部：女性

仮名：佐々木 ゆり (ささき ゆり)

年齢：20 歳、大学 2 年生

出身地：東京都練馬区

■顔立ち

明るい瞳と知的な印象を併せ持つ顔立ち。やや大きめの目と通った鼻筋が印象的で、メイクはナチュラル系。ショートボブの黒髪が知的さと活発さを演出している。笑顔を絶やさず、写真映えするタイプ。

■家族構成

家族は公務員の父、専業主婦の母、2 歳上の兄の 4 人家族。現在は実家暮らし。

■外見・身体的特徴

身長 160cm、標準体型。肌はやや色白で、姿勢が良く所作に品がある。カジュアルながらも清潔感のある服装が多く、ネイルや香りなどにも気を配るタイプ。

■性格・人間関係

合理的で行動力があり、誰とでもそつなく話せる社交性を持つ。一方で、人との距離感は意識しており、必要以上に深く踏み込まれるのを避ける傾向もある。ゼミやサークル内ではリーダー役というよりは、調整役として周囲を支えることが多い。

■恋愛について

恋愛で重視すること

価値観の一致と、会話が楽しいかどうか。

好きな異性のタイプ

視野が広くて話題が豊富な人。自分の世界を持っているタイプに惹かれる。

憧れのデートプラン

古本屋巡りや街歩きから、レストランでのゆっくりした食事。知的好奇心を刺激し合える一日。

告白するとすればどんな台詞になりそうか

「これからもずっと一緒にいたいと思ってる。私じゃダメかな？」

異性交際歴

高校時代に 1 人。理系で少し口下手な男子。入学後に価値観の違いを感じて別れた。自分から別れを告げたが、少し罪悪感が残っている。現在は恋愛よりも自分の時間を優先中。

コンパに行ったら、どんな話題で異性の関心を自分に向けようとするか

「副業とか投資って、もう学生でも始めてる人多いらしいよ」と経済学部らしい話題で知性をアピール。

嫌いな異性のタイプ

空気を読まずにしゃべり続ける人。人を見下したり、自慢話ばかりする人も苦手。

■大学生活の過ごし方

平日は授業とカフェでの自習、空き時間に資格勉強。土日は古書店巡りや美術館、サークルの読書会。予定管理アプリで常にスケジュールを整えている。

■学業・スキル・職歴(アルバイト歴も含む)

経済政策と統計分析を専攻。簿記2級、TOEIC800点、MOS Excel取得済。アルバイトはカフェ店員、現在はリモートでデータ入力の仕事もしている。

■専攻テーマ・研究関心

「地方都市における若者の経済的自立と雇用環境の関係」。ジェンダー視点を含めた分析も試みている。

■価値観・信念

「選べる未来を持つことが、最大の自由」。だからこそ、知識とお金の両方を大切にしている。

■尊敬する人物

宇沢弘文。経済の枠を超えた思想家として、社会との関係性を重視する考え方に共感している。

■過去の経験・トラウマ(成功体験、失敗体験、最大の事件)

高校時代、生徒会の予算担当でプレゼンに失敗。責任を感じて改善案を自ら提出し、翌年大幅な改善を実現した成功体験が今の分析志向につながっている。

■行動原理・動機

「根拠のある選択をしたい」。感覚や勢いよりも、データと論理で物事を考えることに価値を置いている。

■将来への不安や希望

自分の価値を会社の中でどう証明するかに不安がある。だが、選択肢を増やすための準備は万全にしたいという強い意志がある。

■将来の進路イメージ

コンサルティング会社で地方創生や教育支援プロジェクトに関わりたい。いずれはNPOや行政との連携にも携わる立場に。

■性格的な短所・弱点

冷静でいすぎて、人との感情的なつながりをうまく築けないことがある。感情表現が苦手。

■「もしも〜だったなら」

恋愛小説の主人公だったら

就活中に会った同じ志を持つ男子学生との知的で穏やかな恋。就職先の選択をめぐるすれ違いも、ラストで再会する。

家庭劇風小説の主人公だったら

家計が厳しく、奨学金とバイトで家族を支えながら大学生活を送るしっかり者の長女。

犯罪小説の犯人だったら

家庭の借金を肩代わりしようとして、内定先企業の内部情報を漏洩し報酬を得たが、良心の呵責に耐えられず自首。

※この文書はフィクションに基づく創作人物紹介です。実在の人物・団体とは一切関係ありません。